

2024年10月11日

日野市長
大坪 冬彦 様

日野・生活者ネットワーク
代表 出沼 恵美子

2025年度日野市予算編成にあたっての要望

日頃より市長はじめ職員の皆様には、市民のために御尽力頂き感謝申し上げます。また、私たちの活動にご理解いただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

日野・生活者ネットワークは、結成当時から変わらず、まちづくりに市民の声を反映させ、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちにしたいと、暮らしの中にあるさまざまな問題の中から政策提言し、その実現に向けて活動しております。提案しつづけてきたことが、一つずつ実現されていることには、感謝しております。

私たちの日頃の活動を通じてみえてきた課題や、市民の皆さんからの声を踏まえ、次年度への予算要望として提出させていただきます。2022年の市議選において市民の皆さまに提示した政策にそってまとめました。なお、文言が変わっても内容的に同じであれば「継続」としております。

次年度予算要望はかなり絞り込みました。別紙の予算要望項目をご検討頂き、来年度予算に反映していただきますよう、お願い申し上げます。

尚、お手数をおかけいたしますが、文書にてご回答くださいますよう併せてお願い申し上げます。

以上

2025年度（令和7年度）日野市予算要望項目

日野・生活者ネットワーク

1. ケアする人もされる人も、誰もが安心して暮らせるように

- 1) 家族介護には「限界」があります。ケアラー支援を横断的な福祉の上位計画である地域福祉計画に位置づけ、条例化を目指すことを明記してください。【継続】
- 2) ヘルパー不足が深刻です。特に24時間介助が必要な重度障がいのある方のヘルパーを増やせるよう、研修会を実施するなどの取り組みを求めます。【新規】
- 3) 特別養護老人ホームに空室があっても入りたい人が入れない現状を解消する仕組み、またそれ以外の施設においても空室状況を把握できる見える化の仕組みをつくってください。【新規】

2. 子どもの権利が守られ、いきいき育つ環境をととのえる

- 1) 学校に行けない・行かない子どもたちの居場所づくりをしている活動団体の声をきき、活動が継続できるよう支援を求めます。【継続】
- 2) 小学校においても、子どもを性被害から守るための授業を、まずはモデル校から実施してください。その際には、家庭でも話し合いができるよう、保護者も参観できるようにしてください。【継続】
- 3) エール以外の相談場所の設置の検討は進んでいるようですが、それまでの間、子ども包括支援センターで相談日を設けるなどの対応を求めます。【継続】

3. すべての人が自分らしく「共に」生きる社会を実現する

- 1) 精神障害にも対応したピアサポート体制の構築を求めます。【継続】
- 2) 香害の周知・啓発のため、パネル展の開催とともに、当事者が安心して語り合える場を求めます。また全ての学校において、給食のかっぱう着の持参許可およびその周知を求めます。【継続】

4. ストップ地球温暖化！自分から地域からはじめよう

- 1) 新たな緑の管理体制が求められます。防災、気候変動対策としてグリーンインフラの観点からも、管理計画と推進体制を構築してください。【新規】
- 2) データセンター建設計画については、環境審議会と都市計画審議会でも議題とし、必要に応じて環境調整会議の設置の検討もしてください。【新規】
- 3) PFAS 汚染に関しては、農業用井戸や防災井戸においても検査を求めます。【継続】

5. 感染症や災害への対策は日常から

- 1) 雨水タンク設置のための補助制度を東京都に要望してください。【継続】
- 2) 要支援者の個別避難計画策定のスケジュールを組み立て、早急にすすめてください。【新規】

6. 市民が主役! 市政をもっと身近に

- 1) 予算に市民の声が反映されるよう、市民参加型予算枠をまずは森林環境譲与税から設けてください。【継続】
- 2) 子どもの頃から市政を身近に感じられるよう、子どもに関する施策やまちづくりなど、市の職員が直接学校に出向いて説明し、子どもの声をきく取り組みを積極的に展開してください。【継続】
- 3) 審議会や検討会等の開催日時を市民が見つけやすいよう、HP でリンクの一覧をつくるなどの工夫を求めます。【新規】

7. 日野市の魅力、再発見!

- 1) 東京都のヘブンアーティスト事業のように、まちで市民が気軽に演奏等を楽しめる仕組みをつくってください。【継続】